

平成28年度スーパー・プロフェッショナル・ハイスクール指定校
研究開発課題及び研究開発の概要

学校名	研究の概要
<p>秋田県立 おおまがりのうぎょう 大曲農業高等学校 (農業)</p>	<p>【研究開発課題】 DAINOプロジェクトによる農業と地域産業の創造 - 実践的技術・技能・経営力を身に付けた地域創生を担う人材育成プログラムの研究 -</p> <p>【研究開発の概要】 農業の付加価値を生み出すサービスとブランディングを創り出す人材や地域の産業を結びつけ6次産業を生み出す人材の育成、また、豊かな農山村資源をグリーンツーリズムなどと結びつけその活性化のために活躍できる人材の育成に向けて、次の学習プログラムの研究開発を行う。</p> <p>(1)アグリビジネス学習 (Agri-business Learning) 「ふるさと秋田」を支える人材の育成に取り組み、地域農業を理解し、地域資源や人的資源を利活用する力を身に付けさせる。</p> <p>(2)イノベーション学習 (Innovation Learning) 地域環境に関するプロジェクト活動、農産物のブランディングや高度な技術実習を通じて、地域環境の保護活動や栽培に関する高度な知識、最先端の技術に触れることにより、「ふるさと秋田」の多様な資源を生かす力を身に付けさせる。</p> <p>(3)高スキルアップ学習 (Noble Skill-up Learning) 地域農業に関わる農業者との交流や地域社会の構成者としての自覚を高めさせ、「ふるさと秋田」の地域課題に主体的・協働的に取り組む力を身に付けさせる。</p> <p>(4)組織的マネジメント学習 (Organic Management Learning) 農業経営者としての資質を高め、研修を通して農業技術の改良や科学的な考え方を習得し、農業経営の課題解決について取り組むことができ、「ふるさと秋田」の農業の発展に貢献できる経営の多角化や高度化の方法を身に付けさせる。</p>
<p>群馬県立 せ た のうりん 勢多農林高等学校 (農業)</p>	<p>【研究開発課題】 勢農ブランド確立への挑戦！未来の農業を拓く専門人材育成プログラムの開発 ～ 地方創生や成長産業としての農業を担うための資質・能力の育成～</p> <p>【研究開発の概要】 地方創生や農産物の輸出等に果敢に挑戦しようとする将来のスペシャリストの育成を目的に、生涯にわたって自ら考え課題を解決していく力や主体的に行動できる力（課題解決実践力）を持つ</p>

	<p>た人材の育成に必要なカリキュラムや学習指導法、地域連携の研究、さらにはキャリア教育の在り方について研究する。</p> <p>(1)学習指導法等の研究 農業の専門科目では、学校設定科目「地域連携 ・ 」 「農業マーケティング」を設定するとともに、各学科の中核科目においてプロジェクト学習法を取り入れ、主体的・協働的な学習活動を展開することにより、課題解決実践力を育成する。</p> <p>(2)地域連携の研究 地域資源を活用したプロジェクト活動を全学科で展開し、関係機関等との連携強化を図りながら、「勢農ブランド」として発信できるモデル事業等の研究を行う。</p> <p>(3)キャリア教育の研究 専門高校におけるインターンシップの効果的な実施方法や、専門科目内でのキャリア教育の指導法について研究する。</p>
<p>長野県 すわ じつぎょう 諏訪実業 高等学校 (商業・家庭)</p>	<p>【研究開発課題】 - 「文化ビジネスエキスパート」グローバル・カリキュラム - 地域の魅力や日本の感性をビジネスバリューにつなげ、世界に羽ばたく人材育成プログラムの研究</p> <p>【研究開発の概要】 商業科、会計情報科の「流通」と服飾科の「ものづくり」の知識や技術を兼ね備え、地域の伝統文化や伝統産業の魅力を理解し、「文化ビジネス」としてグローバルに展開することができる人材育成を行う教育課程である「文化ビジネスエキスパート」グローバルカリキュラムと、両学科が連携して実施する「文化ビジネスプロジェクト」の研究、開発を行う。</p> <p>(1) 「文化ビジネスコーディネーター」育成 「ビジネス」や「ファッションデザイン」の基礎知識と技術を備え、諏訪や長野県内各地の伝統文化や伝統産業の魅力を深く理解し、人・モノ・企業を結びつけ課題解決の方策を具体的に提案できる人材を育成する。</p> <p>(2) 「文化ビジネスディベロッパー」育成 「ビジネス」と「ファッションデザイン」の知識と技術を生かし、地域の伝統産業や伝統文化の強みを生産物の価値を向上させるための「感性的価値」として付加した商品・サービス・ブランドを開発し、提供できる人材を育成する。</p> <p>(3) 「文化ビジネスプロデューサー」育成 地域資源に関わるビジネスバリューの創造を企画し、文化ビジネス戦略を展開し、グローバルにプロモーション活動を行い、新たにビジネスチャンスを生み出す人材を育成する。</p>

<p>岐阜県立 <small>ぎふ こうぎょう</small> 岐阜工業 高等学校 (工業)</p>	<p>【研究開発課題】 次世代テクノロジストの育成 (Development of The Next Generation Technologists) ～ 成長産業・新技術の開発に挑戦する、 ものづくりスピリットをもつ若者の育成～</p> <p>【研究開発の概要】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 航空宇宙産業への興味関心を喚起し、航空機製造の作業工程に必要な専門的な知識・技術を習得するとともに、県内はもとより我が国の基盤産業となる航空宇宙産業の発展を支える技術者の育成 ・ 感情認識機能を有するロボットの制御プログラム技法を習得するとともに、医療福祉分野に応用したプログラム開発を行い、将来は本県の情報通信産業の振興を担う技術者の育成 ・ もの、仕組みを総合的に捉え、新しい技術や考え方を取り入れた新たな価値を創造する取組をとおして、社会に変化をもたらすイノベーションの推進を支える技術者の育成
<p>愛知県立 <small>みや すいざん</small> 三谷水産高等学校 (水産)</p>	<p>【研究開発課題】 水産・海洋資源の持続的利用や六次産業化、グローバルな資源管理やローカルな里海の環境保全の取組等を通して、地域社会をリードし、海洋立国日本の将来を支えるグローバル人材を育成するための先進的かつ汎用的な研究</p> <p>【研究開発の概要】 水産高校には、時代の変化や新たな価値を主導・創造し、水産及び海洋分野を牽引する、高度な専門的知識と実践力を兼ね備えたグローバル（グローバルな視点でローカルに活躍する）な人材の育成が求められている。そのため、専攻科を含めた水産教育の中で、現行の学習指導要領で改善された3つの観点(1)将来のスペシャリストの育成、(2)地域産業を担う人材の育成、(3)人間性豊かな職業人の育成を踏まえた6つの先進的かつ汎用的な研究開発等に取り組むことで、地域社会をリードし、将来の海洋立国日本を支える人材の育成を目指す。</p> <p>(1)将来のスペシャリストの育成 産学官連携によるクロアワビの完全閉鎖式陸上養殖技術の研究 ラジコンマルチコプターによる水質リモートセンシングの研究 海洋調査等における小型海洋調査用水中ロボットの活用に関する研究</p> <p>(2)地域産業を担う人材の育成 研究機関や地域産業との協働による新商品開発と六次産業化の研究 大学等の研究機関との連携によるウナギの資源保護と完全養殖化に向けた基礎研究</p>

	<p>(3)人間性豊かな人材の育成 グローバルな視点を身に付けた水産技術者の育成 ・連携企業における長期インターンシップ（日本版デュアルシステム）の取組 ・水産・海洋産業の国際化に対応できるグローバル人材の育成</p>
<p>京都府立 京都すばる高等学校 (情報)</p>	<p>【研究開発課題】 産官学連携による情報セキュリティ人材育成 ～幅広い教養と豊かな情操を基盤にして、高い情報技術・倫理観を持ち、サイバー空間を「自由、公正かつ安全」に創出及び発展させる人材育成プログラムの開発～</p> <p>【研究開発の概要】 情報セキュリティ分野で全国的にも主導的かつ卓越した取組を進める先進IT企業、京都府警察本部サイバー犯罪対策課及び京都大学、立命館大学との産官学連携による情報セキュリティ人材育成プログラムを次の目的をもって開発する。</p> <p>(1)高い情報技術・倫理観を持った将来の情報セキュリティ人材の育成</p> <p>(2)課題解決に積極的に取り組み、その成果をもって社会貢献できる人材の育成</p> <p>(3)e-Learning System を用いた主体的・自発的に学習に取り組む態度の育成</p> <p>(4)新しい学びや実績の積極的広報及び全国専門学科「情報」設置校への研究成果の普及</p>
<p>兵庫県立 <small>こうべ しょうぎよう</small> 神戸商業高等学校 (商業)</p>	<p>【研究開発課題】 『貿易人K O B E』プロジェクト～世界を相手にたくましく生きるグローバル人材の育成～</p> <p>【研究開発の概要】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・産官学と連携しながら、高校生が自らの力で輸出入商品の販路を開拓し、世界を相手にたくましく生きる力を養うとともに、貿易のスペシャリストに必要な知識・技能を身に付けさせる。 ・貿易実務を実際に行うだけでなく、顧客が満足する海外商品を買って輸入・販売したり、生徒自身が開発した商品等を海外へ輸出・販売したりすることを通じて、交渉力やリーダーシップ、責任感、チャレンジ精神等を高めるとともに、地元神戸に愛着を持ち、地域経済の活性化等に寄与する人材を育成する。 <p>(1) 輸出入商品の販路開拓等の調査・研究</p>

	<ul style="list-style-type: none"> ・顧客満足を満たす輸出入商品や販路開拓等の調査・研究、調査 ・研究発表大会の実施 ・連携機関等による出前授業、港湾関係施設等の訪問 (2) 貿易実務に必要な知識・技能および実践的な能力の習得 ・連携機関等による出前授業、港湾関係施設等の訪問 ・インターンシップ、先進的な港湾の視察 (3) グローバルな視点・語学力の育成 ・連携機関等による異文化理解ができる体験・貿易英語に関する出前授業 ・英語や中国語の語学力を高めるとともに、テレビ会議システムを活用した協働学習 (4) マーケティングに関する実践的な知識と技術の習得 ・連携機関等による出前授業、企業等が行うマーケティング活動の現場訪問 ・連携機関等によるテレビ会議システムを活用した協働学習 (5) 海外との取引に必要な知識と技術の習得 ・海外の見本市等での販売等、生徒自ら販路を開拓した販売活動、販売活動に伴う輸入手続きの実践 ・販売活動に伴う様々なマーケティング活動の取組 (6) ビジネスマナー・就業意識の育成 ・連携機関等によるビジネスマナーを高める実技指導 ・連携機関等による就業意識を高める出前授業
<p>愛媛県立 いまばりこうぎよう 今治工業 高等学校 (工業)</p>	<p>【研究開発課題】 船づくりをモデルケースとした地学地就による次世代スペシャリスト育成プロジェクト Collaboration in Education with Regional Communities in IMABARI</p> <p>【研究開発の概要】 本研究の目的として、 地域産業で活躍できる優れた人材育成メソッドの確立 確立された人材育成メソッドの校内、県内、全国への普及 人材育成の課題解決に向けた一連の取組を通じた地方創生への貢献 の三つの項目を掲げ、以下の取組を実施することとする。</p> <p>Community Action ~ (1 ~ 3 年次) 確かな知識や実践的な技能とともに、規範意識や倫理観を身に付けさせる取組の実践</p> <ul style="list-style-type: none"> ・地元造船会社や今治地域造船技術センター等との連携により、「匠の技」や「職人魂」に直接触れさせ、生徒のモチベーションを高めるとともに、実践的な実技指導を行う。 <p>Challenge Stage ~ (1 ~ 3 年次) 専門分野の高度な技術を身に付けさせる取組の実践</p> <ul style="list-style-type: none"> ・愛媛大学、広島大学、海上技術安全研究所等との連携により、

	<p>世界最高水準の日本の造船技術を習得させるために、実験・課題演習に挑戦させる。</p>
<p>福岡県立 か しい 香椎高等学校 (家庭)</p>	<p>【研究開発課題】 デスティネーションデザイン！アジア経済圏におけるファッション産業集積拠点「福岡」の成長を担う専門的職業人「Kブランド人材」の育成～高度な資質・能力を育む産学接続型教育プログラムの開発を通して～</p> <p>【研究開発の概要】 福岡商工会議所や地場企業など地元産業界やファッション系大学等と連携・協働することにより、ファッション界で新たな価値を生み出す基盤となる高度な資質・能力を育む産学接続型教育プログラムを開発し、産業としての側面から“クールジャパン”の担い手として感性や創造力等をビジネスに繋げていくプロフェッショナルな人材の育成を目指す。具体的には以下の4つの教育プログラムを開発する。</p> <p>(1)唯一無二のデザインを生み出す創造力を育む「福岡発ファッションイベント企画・運営実習」</p> <p>(2)可能性を広げるワールドワイドな鋭い感性を育む「世界のファッション文化を学ぶ海外研修」</p> <p>(3)「美」の文化を複眼的に捉える洞察力を育む「郷土の一級品に触れる実習・体験活動」</p> <p>(4)グローバルに活躍する基礎となる語学力を育む「English for fashion students」</p>
<p>熊本県立 なんりよう 南校 高等学校 (農業)</p>	<p>【研究開発課題】 地域を担う生命総合産業（Total Life Industry）クリエイターの育成</p> <p>【研究開発の概要】 地域の基幹産業である「農業」を食料生産の分野に留めず、教育・福祉・生活等あらゆる分野と融合した生命総合産業分野を創造し、地域創生へ寄与できる豊かな創造力と技術を持った人材を育成する。また、都市部や諸外国の都市と農業文化交流を図ることでグローバルな視点を養うとともに、地域の風土・文化的資源や人的資源を活用しながら、日本文化遺産に認定された「球磨人吉地域」の伝統文化及び先人の技術や知恵の結晶を次世代に継承し、地域を活性化できる実践力のあるクリエイターを育成する。</p> <p>(1)将来の農業経営を目指し地域リーダーを育成する「南校就農塾」の教育プログラムを人材育成のモデルとし、将来的に地域内の各産業分野で持続的な発展と活性化に寄与する人材育成を全学</p>

科で行う。

(2)産学官連携を強化することで、地域のニーズを教育活動に取り入れ、地域を担う役割を自覚し、意欲的に課題解決と新産業分野の創造ができる人材育成につなげる。

(3)プロジェクト学習法を取り入れ、農業の発展、農村振興等につながる創造的・発展的活動を地域と一体となって行う。本校が准研究機関としての役割を発揮し、地域課題解決や商品開発、検証的調査、先進的技術・設備の導入等を行い、その成果を地域に普及する。

(4)研究の評価及び測定には、本校独自の「南稜版学習到達度評価方法（LAEM for Nanryou）」で検証的評価を行う。

これらの人材育成及び研究・開発、産学官連携の総合的な活動を「南稜型地域活性化プログラム」と称し、地域のモデルになり、さらには地域に根付いた産業教育を行う他校の模範となる先導性と新規性のある研究を目指す。